

平成29年度ごみ処理実績表

1 平成29年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	平成29年度	平成28年度	増減	対前年度比
人口（人）	601,055	596,505	4,550	100.8%
世帯数（世帯）	281,681	276,461	5,220	101.9%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	平成29年度(t)	平成28年度(t)	増減(t)	対前年度比
排出量	182,598	185,062	-2,464	98.7%
排出量（集団資源回収を除く）	169,597	171,432	-1,835	98.9%
一般ごみ	145,082	146,451	-1,369	99.1%
粗大ごみ	6,044	5,923	121	102.0%
資源物	18,386	18,978	-592	96.9%
びん	3,614	3,711	-97	97.4%
飲料かん	1,372	1,403	-31	97.8%
金属類	1,353	1,353	0	100.0%
ペットボトル	2,001	1,968	33	101.7%
繊維類	1,833	1,829	4	100.2%
紙類	4,902	5,374	-472	91.2%
プラスチック製容器包装	3,311	3,340	-29	99.1%
乾電池	61	69	-8	88.4%
有害ごみ（蛍光管）	11	11	0	100.0%
集団資源回収	13,001	13,630	-629	95.4%
災害廃棄物	13	0	13	皆増

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	平成29年度(t)	平成28年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	124,069	125,376	-1,307	99.0%
一般ごみ	99,642	100,469	-827	99.2%
粗大ごみ	5,991	5,878	113	101.9%
資源物	18,364	18,949	-585	96.9%
乾電池	61	69	-8	88.4%
有害ごみ（蛍光管等）	11	11	0	100.0%
事業系	45,515	46,056	-541	98.8%
一般ごみ	45,440	45,982	-542	98.8%
粗大ごみ	53	45	8	117.8%
資源物	22	29	-7	75.9%

中間処理量比較表（対前年度比）

	平成29年度(t)	平成28年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却処理	151,512	152,693	-1,181	99.2%
破砕処理	4,672	4,495	177	103.9%
資源化処理	18,389	18,983	-594	96.9%

最終処分量比較表（対前年度比）

	平成29年度(t)	平成28年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	6,819	7,424	-605	91.9%
資源化物	28,424	28,931	-507	98.2%
処理困難物	117	113	4	103.5%

※ 平成34年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は4,800 t

資源化物比較表（対前年度比）

	平成29年度(t)	平成28年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	28,424	28,931	-507	98.2%
焼却残渣金属	653	656	-3	99.5%
未酸化鉄	750	791	-41	94.8%
未酸化アルミ	63	79	-16	79.7%
溶融スラグ	7,896	7,979	-83	99.0%
焼却残渣物（セメント資源・路盤材資源）	1,094	800	294	136.8%
再生粗大ごみ	10	10	0	100.0%
破碎前金属	176	177	-1	99.4%
破碎後金属	766	760	6	100.8%
破碎前アルミ屑	31	29	2	106.9%
破碎後アルミ屑	19	21	-2	90.5%
びん	3,519	3,615	-96	97.3%
飲料かん	1,129	1,137	-8	99.3%
金属類	1,026	1,095	-69	93.7%
繊維類	1,311	1,414	-103	92.7%
ペットボトル	1,713	1,653	60	103.6%
紙類	4,779	5,247	-468	91.1%
プラスチック製容器包装	2,982	2,957	25	100.8%
特定家庭用機器	8	9	-1	88.9%
小型家電	427	422	5	101.2%
乾電池	61	69	-8	88.4%
二次電池	0	0	0	—
蛍光灯	11	11	0	100.0%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	平成29年度(g)	平成28年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	832	850	-18	97.9%
1世帯1日あたり	1,776	1,834	-58	96.8%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日

※ 平成34年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は844 g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

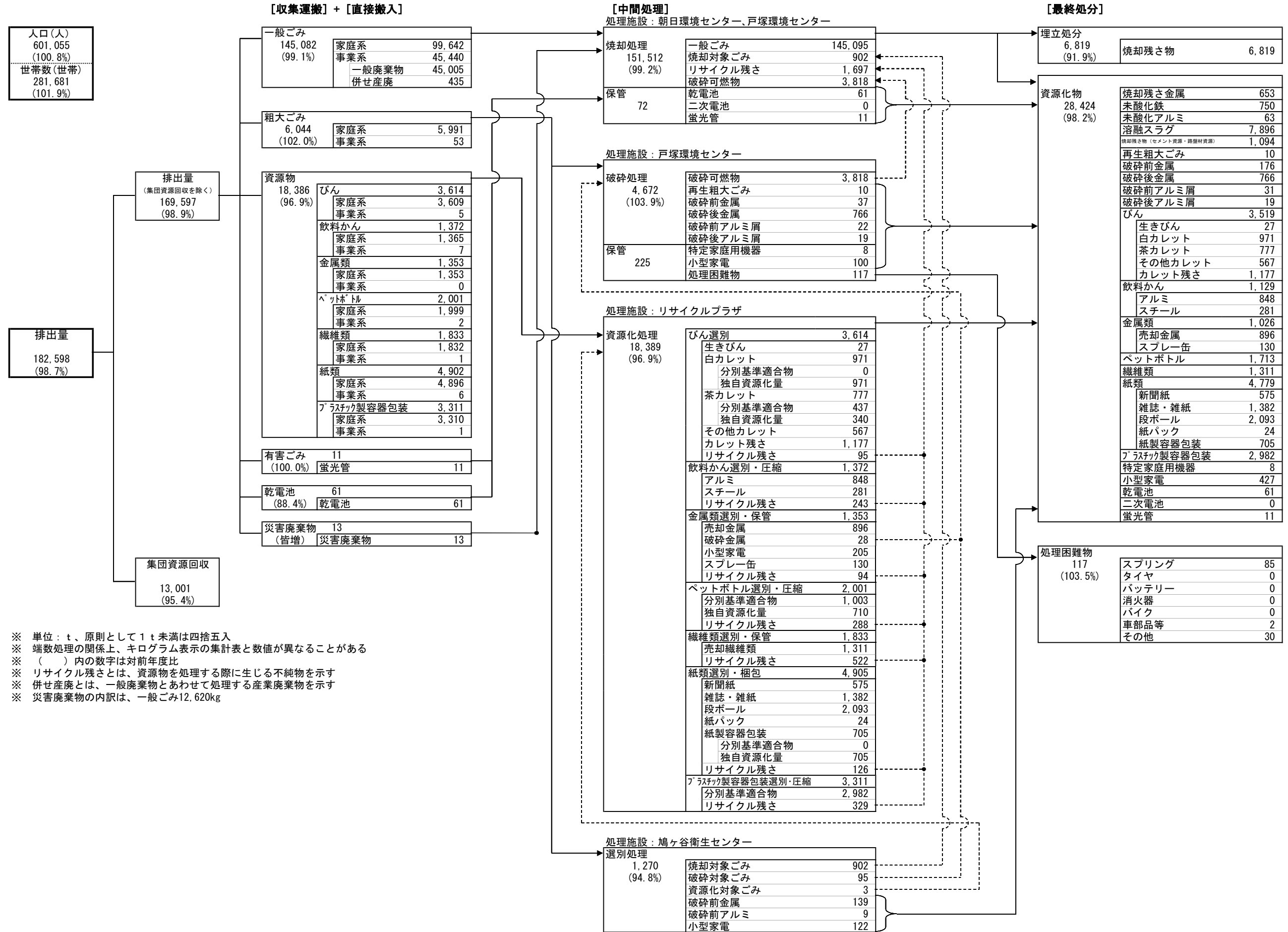
	平成29年度(g)	平成28年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	16.8%	16.9%	-0.1	99.4%
リサイクル率(%)	22.7%	23.0%	-0.3	98.7%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 平成34年度を目標年度とするリサイクル率の目標は35.0%

2 平成29年度ごみ処理実績フローシート



※ 単位：t、原則として1t未満は四捨五入
 ※ 端数処理の関係上、キログラム表示の集計表と数値が異なることがある
 ※ () 内の数字は対前年度比
 ※ リサイクル残さとは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
 ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す
 ※ 災害廃棄物の内訳は、一般ごみ12,620kg

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

平成29年度は、対前年度比2,464t(1.3%)減少した。

図1 排出量の推移

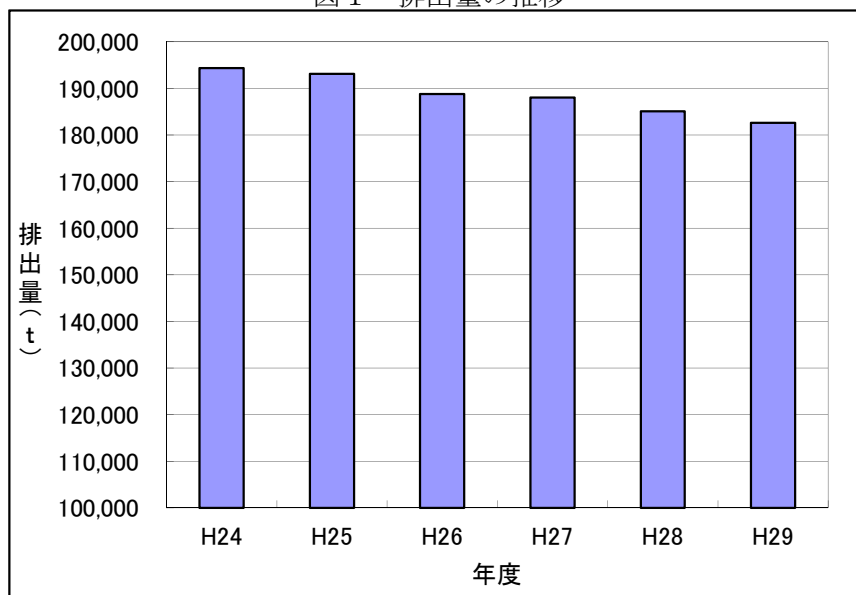


表1 排出量の推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
排 出 量	194,338	193,109	188,817	188,023	185,062	182,598
	-	99.4%	97.8%	99.6%	98.4%	98.7%

【下段は、対前年度比率】

※24年度2 t、25年度2 t、26年度1 t、29年度13 t の災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

平成29年度は、対前年度1,835 t (1.1%) 減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

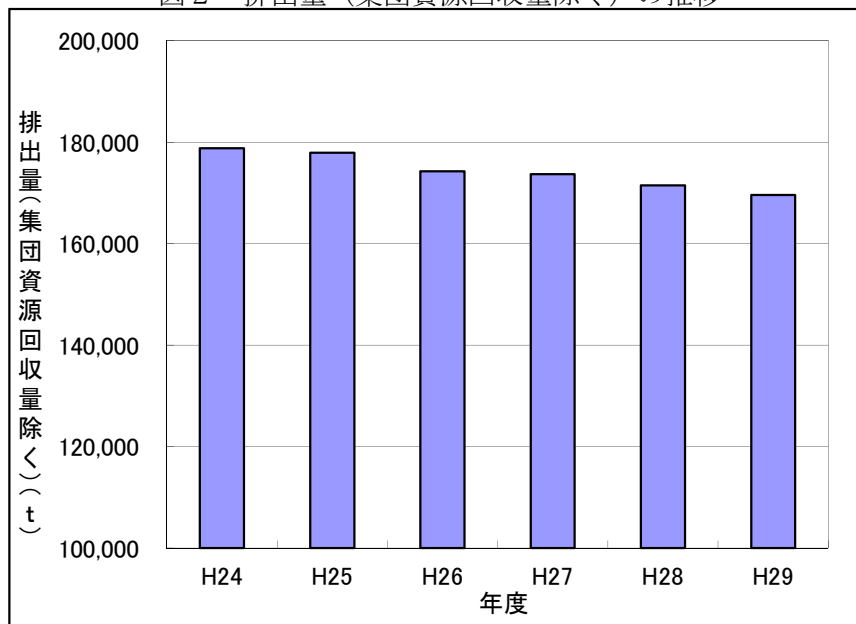


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
排 出 量 (集団資源回収量除く)	178,769	177,900	174,236	173,693	171,432	169,597
	-	99.5%	97.9%	99.7%	98.7%	98.9%

【下段は、対前年度比率】

※24年度2 t、25年度2 t、26年度1 t、29年度13 t の災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

平成29年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比1,307 t（1.0%）減少した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比541 t（1.2%）減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

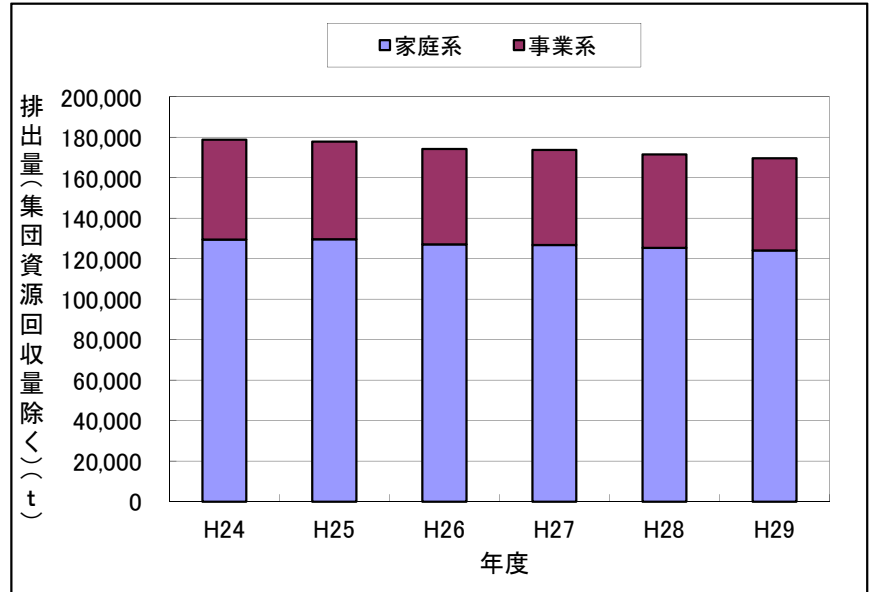


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
家 庭 系	129,474	129,581	127,105	126,816	125,376	124,069
	-	100.1%	98.1%	99.8%	98.9%	99.0%
事 業 系	49,293	48,317	47,130	46,877	46,056	45,515
	-	98.0%	97.5%	99.5%	98.2%	98.8%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

平成29年度は、対前年度比1,369 t（0.9%）の減少となった。内訳は、家庭系が827 t（0.8%）減少、事業系が542 t（1.2%）の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

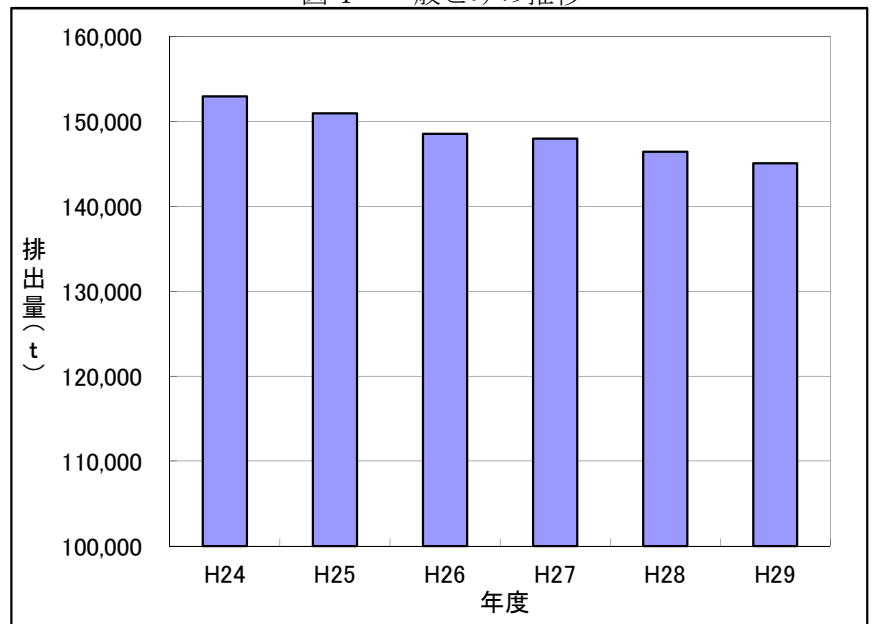


表4 一般ごみの推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
一 般 ご み	152,950	150,961	148,568	147,970	146,451	145,082
	-	98.7%	98.4%	99.6%	99.0%	99.1%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

平成25年度は大幅に増加しているが、これは、平成26年4月から、消費税率が改訂されたこと及び、特定品目の粗大ごみ処理料を有料化したための駆け込み排出によるものと考えられる。

平成29年度は、対前年度比121t(2.0%)増加した。内訳は、家庭系粗大ごみが113t(1.9%)増加、事業系粗大ごみが8t(17.8%)増加となっている。

図5 粗大ごみの推移

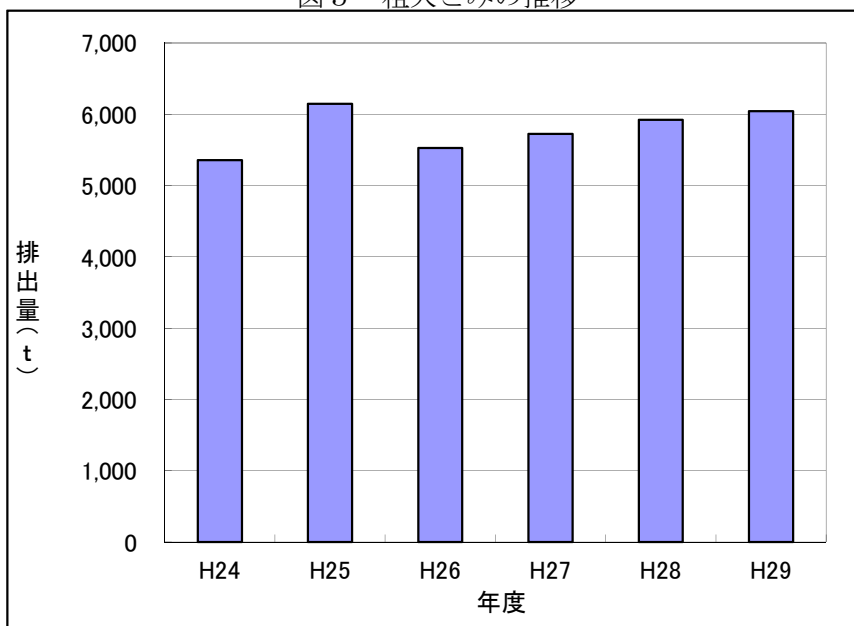


表5 粗大ごみの推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
粗 大 ご み	5,359	6,148	5,529	5,723	5,923	6,044
	-	114.7%	89.9%	103.5%	103.5%	102.0%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

平成29年度は対前年比592t(3.1%)減少した。内訳は、家庭系資源物が585t(3.1%)減少、事業系資源物が7t(24.1%)減少となっている。

図6 資源物の推移

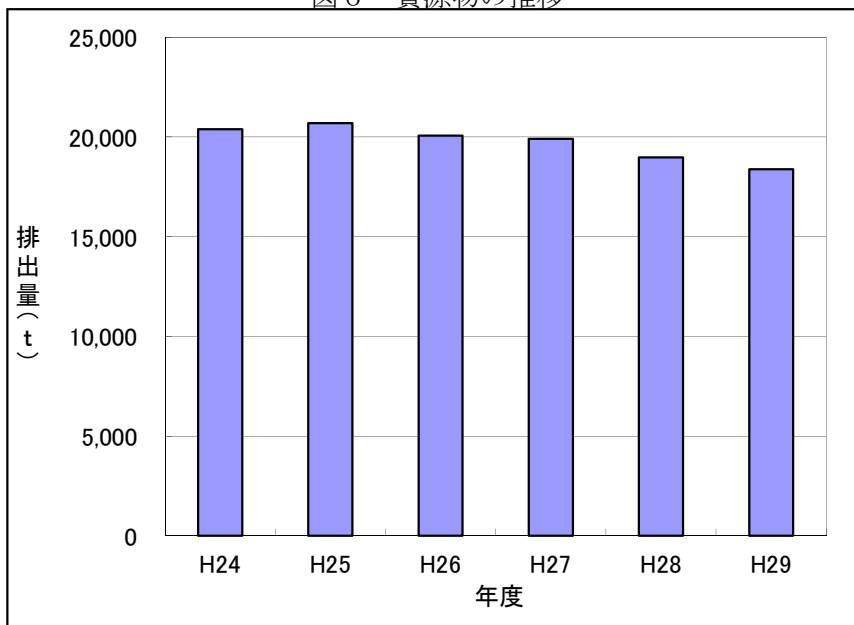


表6 資源物の推移

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
資 源 物	20,388	20,696	20,078	19,911	18,978	18,386
	-	101.5%	97.0%	99.2%	95.3%	96.9%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。